

授業科目名		担当講師名		対象学年	
精神看護学実習		濱田 秀子		3年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
実習	2(90)	奄美病院	前・後期	月～金	8:00～15:00
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員が担当している。				
学修内容	精神に障害のある対象について理解し、精神看護に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科の治療環境・生活環境について理解できる。 2. 精神科医療の特徴が理解できる。 3. 対象の日常生活を観察し、精神障害が生活全般に与える影響について理解できる。 4. 精神に障害がある対象を理解できる。 5. 対象の日常生活行動を把握し、自立に向けて援助できる。 6. 対象が周囲の人々と交流が持てるよう援助する。 7. 行った援助を評価・振り返ることができる。 8. 対象との人間関係のあり方を通して自己の行動を振り返ることができる。 				
事前学習	精神看護の目的と意義、精神保健医療福祉の法制度、統合失調症／気分障害／てんかん／パーソナリティ障害 向精神薬の種類と主な副作用／多飲水／行動制限における看護				

授業計画

No.	授業内容
1日目～15日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題を提示し、実習の事前学習を行う。 2. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) オリエンテーション 2) 受け持ち患者看護 1名の患者を受け持ち、ヘンダーソンの理論に基づいて看護過程を展開する。 3) 演習 ・プロセスレコードを活用し、対象との関わりを振り返る。 4) カンファレンス 5) 5日目～9日目のあいだに1日学内実習にてリフレクションを行う
履修上の要件	精神看護学実習は、精神看護学概論、精神看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修得していること
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開 医学書院 はじめてのヘンダーソンモデルにもとづく精神科看護過程 医歯薬出版 看護学生のための精神看護臨地実習 NOTE 中央法規
成績評価の方法	精神看護学実習 評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の総合評価
備考	